

2016年
1月中国四国農政局
香川支局


News Letter

うまい、食べまい、香川のお米「おいでまい」 ～「おいでまい」委員会～

「おいでまい」委員会は、香川県やJA香川県、生産者、流通業者などにより、「おいでまい」の栽培技術と商品力・販売力の向上を図るため、平成24年に設置されました。同委員会では、生産振興・販売戦略・メディア戦略の各チームが活動計画を策定し、関係者一丸となって取り組んでいます。

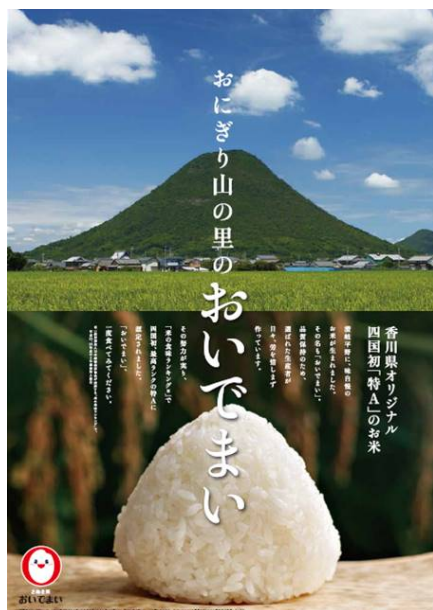
平成14年に香川県農業試験場で育成された「おいでまい」は、平成23、24年に試験栽培を行い、平成25年から

本格的な栽培が始まりました。米粒の美しさと炊飯した時のしっかりとした食感があり、日本穀物検定協会の「米の食味ランキング」

では、平成25・26年産と2年連続で最高ランクの「特A」を獲得しています。

委員会は、「おいでまい」の普及と品質・食味を確保したブランド化を図るため生産者の認定を行っており、平成27年産は約2,500名が1,250haで栽培しています。収穫された「おいでまい」は、県内を中心に小売店や量販店で販売するほか、飲食店等へ販売されています。

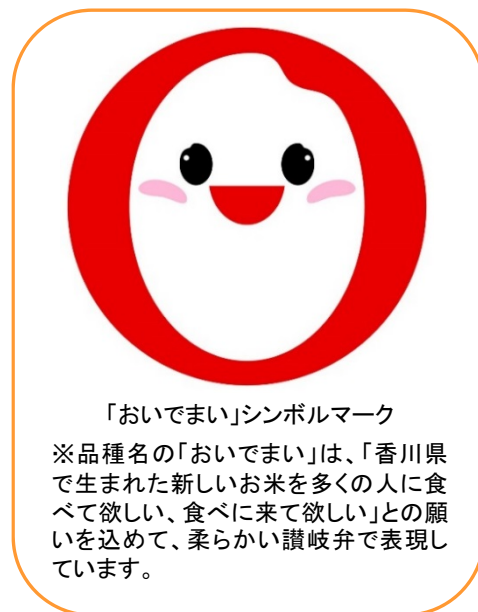
また、PRポスターやキャラクターグッズの配布、テレビCMなどの広報活動を行い、販路拡大に取り組んでいます。



PR用ポスター

今後は、県外での販売促進を本格化し、PR大使を活用した東京でのイベント開催など、首都圏での知名度アップを盛り上げていく予定です。

委員会担当者は、「食べてもらえれば必ず魅力は伝わる。首都圏でのPR活動や各種イベントでのサンプル配付などを行い、販路拡大につなげたい。」と話し、今後一層の取組が期待されます。



「おいでまい」シンボルマーク

※品種名の「おいでまい」は、「香川県で生まれた新しいお米を多くの人に食べて欲しい、食べに来て欲しい」との願いを込めて、柔らかい讃岐弁で表現しています。



新米発表会の様子

「農政新時代キャラバン」四国ブロック説明会を開催

中国四国農政局は1月15日（金）、高松市内でT P P対策等（平成27年度補正予算）について関係機関・団体等に説明を行う「農政新時代キャラバン 四国ブロック説明会兼香川県説明会」を開催し、午前の総論、午後の分科会に延べ300人以上が参加しました。

冒頭、加藤寛治農林水産大臣政務官から「あらゆる機会を活用して現場の皆様にご説明して参りたい」と挨拶がありました。その後、本省担当者から総論に関する説明、午後から「水田・畑作」「園芸」「畜産」の3つの分科会が開催され、活発な質疑応答が行われました。



加藤農林水産大臣政務官の挨拶

「おむすびの日」パネル展を開催



パネルの展示

香川支局は1月17日（日）、丸亀市の「讃さん広場」においてJA香川県主催の「おむすびの日」のイベントに参加し、「おむすびの日」の由来や「ごはんを食べよう国民運動推進協議会」が実施した記念アンケート結果のパネル展示を行い、食べることの大切さやお米の重要性をアピールしました。

会場では、香川県産「おいでまい」を使ったお好みのおむすびの試食（限定500個）が行われ、参加者は好みの形（三角、まる、たわら型）と具材（鮭、梅、昆布）を楽しそうに選んでいました。



試食会の様子

香川支局メールマガジン「香川支局ぴっぴ通信」のご案内

香川支局では、県内の生産者、消費者及び関係団体等の皆様を対象としたメールマガジン「香川支局ぴっぴ通信」を発行しています。国の施策や農林水産業に関する話題など、スピーディにピピッとお届けします。

※ 毎月2回（原則1日、16日）配信

※ メールマガジンはどなたでも無料でご覧いただけます。

配信を希望される方は、インターネットにより登録をお願いします。

〈インターネットによる申込先〉

<https://www.contact.maff.go.jp/chushi/form/2c54.html>

編集：中国四国農政局 香川支局

〒760-0018 高松市天神前 3-5

TEL (087)831-8151(内線218) FAX(087)833-7291 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>